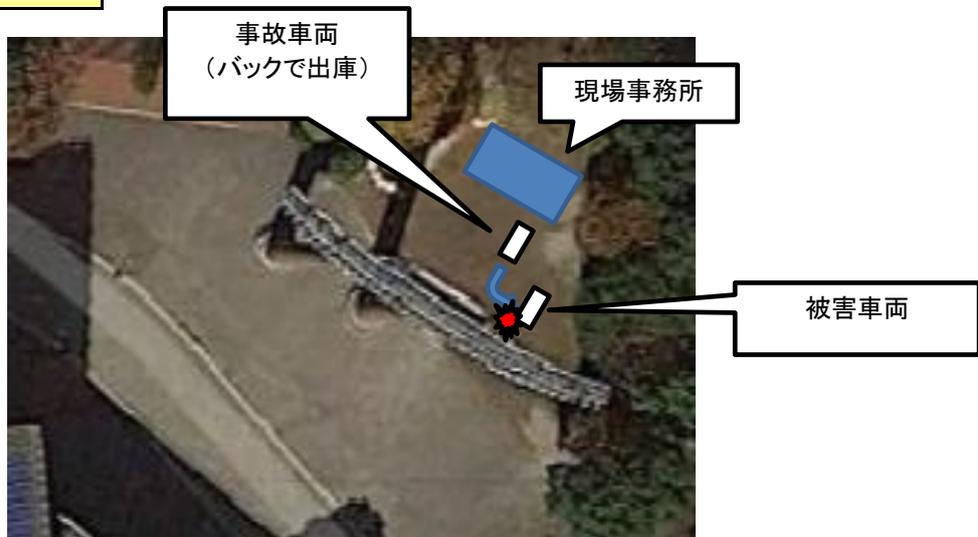


公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	平成31年2月6日(水曜日) 12時10分			工事関係者区分	一次下請
事故区分	車両・自転車等損傷	性別		年齢		業種区分	土木
被災程度	車両破損			事故レベル	I	休業見込日数	
工事概要	ウレタン舗装改修						
事故概要	昼休憩時に通勤車両を後退した際に、駐車していた車に接触し破損したものを。						
事故原因	運転者が後方の確認が不十分であったため。						
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車は、バック駐車を徹底する。 ・車両後退時は、誘導員を配置する。 						

事故状況図



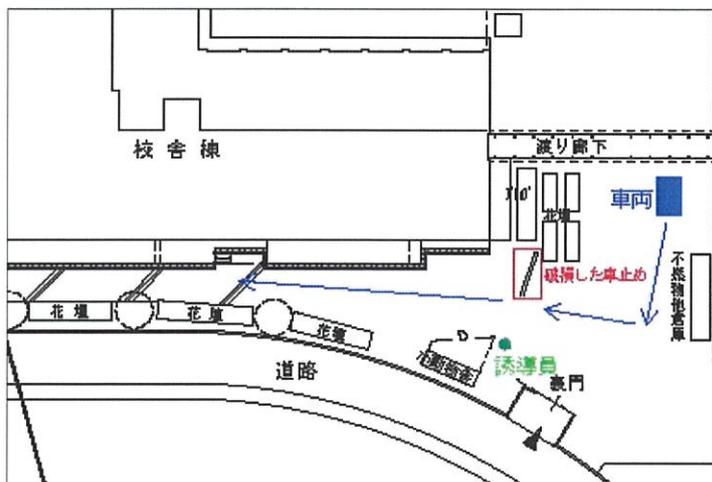
改善状況図



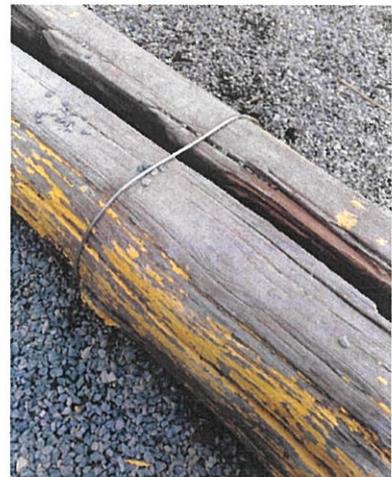
公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	平成31年2月2日(土曜日) 11時00分			工事関係者区分	一次下請
事故区分	その他の物損	性別	—	年齢	—	業種区分	建築
被災程度	丸太(車止め)の損傷			事故レベル		休業見込日数	0日
工事概要	小学校の便所改造工事						
事故概要	資材を昇降口から搬入するために、搬入用の4tトラックで東門側から後進を行った。東門付近に設置されていた2つの車止めのうち1つを移動していたが、注意を怠りもう一方の丸太に接触し、丸太が2つに割れ破損した。						
事故原因	搬入口付近にUターンできるスペースがなかったため、運転者はバックで走行したと考えられる。その際に作業員を配置し搬入車の誘導を行っていたが、誘導員が飼育舎と搬入車の間で誘導を行っていたため、反対側後輪への注意が散漫になり、今回の事故が発生した。						
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・事故後の措置として、新規入場の際に注意力所を追加して説明を行った。 ・同様の事故が起こらないように現場作業員に事故状況を周知し、大型車の誘導時には再度現場の状況を確認するように指導を行った。 						

事故状況図



事故状況図



丸太の損傷状況

改善状況図

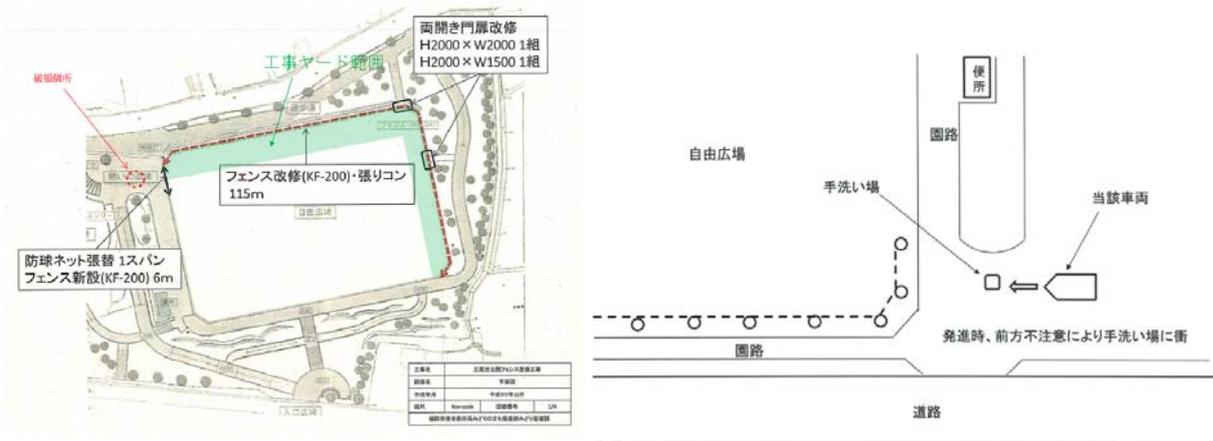


新規入場者教育

公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	平成31年2月6日(水曜日)14時50分			工事関係者区分	一次下請
事故区分	その他の物損	性別		年齢		業種区分	土木
被災程度	手洗場損傷			事故レベル	I	休業見込日数	—
工事概要	三尾池公園フェンス整備工事						
事故概要	園路内に停止していた工事車両を移動しようと前進で発進した際に、手洗い場に衝突し水道施設を損傷させたもの。						
事故原因	園路内に当該車両を停止させたこと、運転者が前方の確認を行わなかったこと。						
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・工事ヤードは作業車両が十分に出入可能な範囲に設定し、工事ヤード外には車両を駐車しないようにする。 ・園内を車両が走行する際は、障害物のそばに駐車することは避け、誘導員を配置する等して、園内の利用者や障害物に十分に注意を払いながら行う。 						

事故状況図



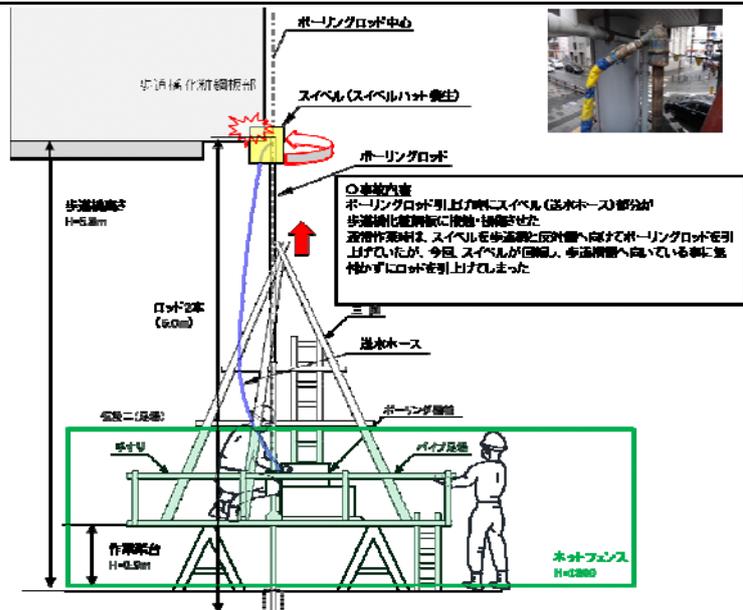
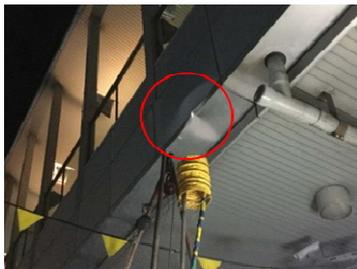
改善状況図



公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	平成 31年 2月 9日(土曜日) 0時25分		工事関係者区分	二次下請
事故区分	その他の物損	性別		年齢	業種区分	土木
被災程度	歩道橋化粧鋼板の凹み		事故レベル	I	休業見込日数	-
工事概要	地下鉄七隈線延伸工事					
事故概要	シールド通過時の地盤の変位測定のため、多段式傾斜計設置用のボーリング(深さL=36.0m)を行っていたところ、ロッドを引き上げていた際にロッド上部のスイベル部分が上空の歩道橋と接触し橋桁部の化粧鋼板を破損させた。					
事故原因	歩道橋との離隔が狭いため、通常の手順では、ロッド上部のスイベル及び送水ホースを歩道橋と反対側へ向けてロッドを引き上げており、ロッド自体が歩道橋に当たることはなかったが、今回、スイベル及び送水ホースが歩道橋側へ回転していたことに気付かずそのままロッドを引き上げてしまったため。					
改善策	①ロッド引上げ時の本数を2本(6.0m)から1本(3.0m)に変更して、ロッドと歩道橋との離隔を確保する ②ロッド1本分の引上げ高さの位置にストッパーを設置する ③櫓組立解体やロッド脱着時に、歩道橋、橋脚、架線などに資機材が接触しないよう専任の監視員を配置する					

事故状況図



改善状況図

ストッパー設置状況



ロッド1本毎の脱着及び監視員配置状況



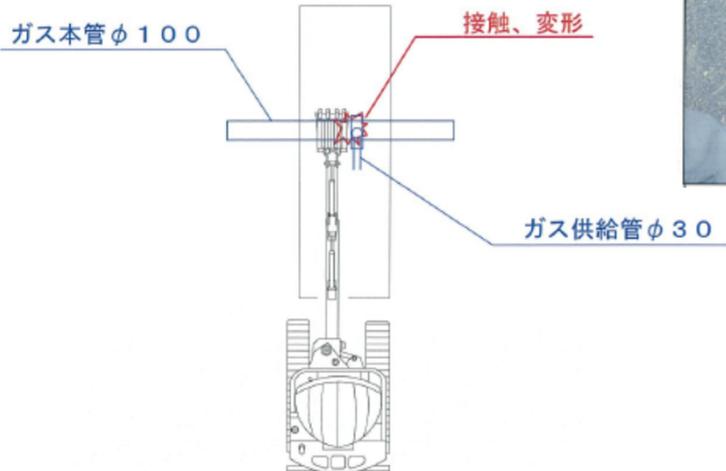
化粧鋼板復旧完了



公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	平成31年 2月15日(金曜日) 11時50分			工事関係者区分	一次下請
事故区分	埋設物等損傷	性別	—	年齢	—	業種区分	土木
被災程度	ガス供給管の破損			事故レベル	I	休業見込日数	
工事概要	配水管布設工事						
事故概要	新設本管に給水管を接続するため機械掘削した際に、ガスの供給管を破損させた。						
事故原因	<ul style="list-style-type: none"> ・試掘でガス本管の深さを確認し、管理者と立会し供給管に保安措置(マーキング)をなされ、給水管の掘削範囲から離れていたことから機械掘削を行ったこと。 ・掘削断面の床付け付近にガス本管が埋設されているに関わらず、掘削時に埋設標示テープの確認が疎かになり機械掘削作業を継続したこと。 						
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・地下埋設物と近接する掘削作業において、機械掘削と人力掘削との離隔を定めた。 ・掘削断面内では埋設物は事前に露出確認を行う等の適切な保安措置を講じるように見直した。 ・日々のKY活動時に、地下埋設物等の状況を作業従事者に現地で指さし確認を行う等の周知方法を改善した。 						

事故状況図



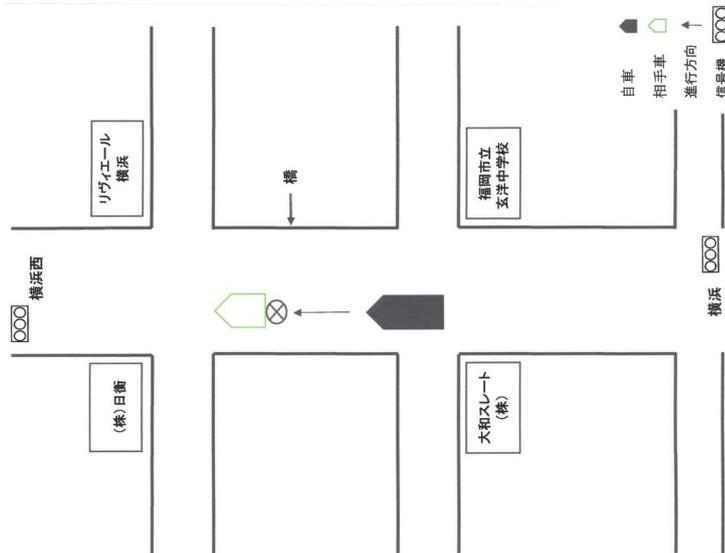
改善状況図



公共工事等事故情報

事故分類	死傷公衆災害	発生日時	平成 31年 2月 18日(月曜日) 9 時 55分			工事関係者区分	元請け
事故区分	第三者人身	性別	女性	年齢	—	業種区分	設備
被災程度	頸部損傷・全治1週間			事故レベル	Ⅱ	休業見込日数	—
工事概要	新西部水処理センター濃縮汚泥輸送業務委託						
事故概要	新西部水処理センターから汚泥を西部水処理センターに運搬する業務において、汚泥運搬後、新たな汚泥を積み込むためバキューム車(12ton車)が新西部水処理センターへ向かい走行中、前方の右折待ちの軽乗用車に気付くのが遅れ、ブレーキをかけたが間に合わず前者の後部に追突したもの。						
事故原因	交差点に進入する際、左脇道から車が出てこないか確認に気を取られ、前方を十分見ず走行したため。						
改善策	H31.2.19(火) 16:00より受注者による緊急安全委員会を開催し、交通事故防止として様々な場面における危険予測と対処法の指導を行った。						

事故状況図



改善状況図

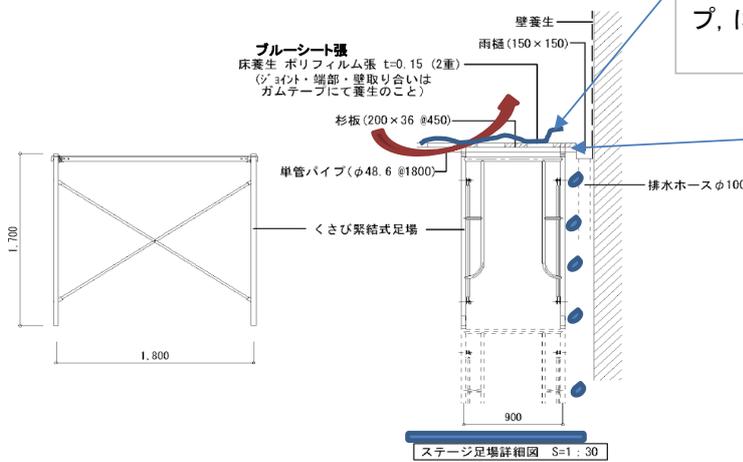


H31.02.19 16:00～ 緊急安全委員会を実施

公共工事等事故情報

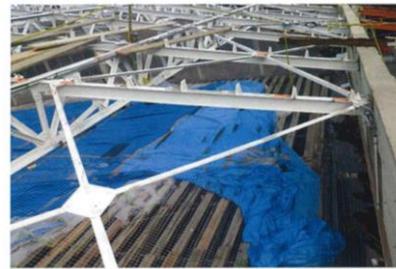
事故分類	物損公衆災害	発生日時	平成31年2月 3日(日曜日) 14時30分			工事関係者区分	元請け
事故区分	その他の物損	性別	—	年齢		業種区分	建築
被災程度	体育館床面の浸水			事故レベル	Ⅱ	休業見込日数	
工事概要	体育館の屋根の改修						
事故概要	屋根を改修するにあたり、既存の屋根を撤去した際、屋根の下部にブルーシート等により養生していたが、強風によりシート等が捲れ、降り込んだ雨水により体育館の床面が浸水してしまったもの。						
事故原因	屋根を一時撤去した際に、降雨等に対して床を防護するため、足場上において、ポリフィルムに加えてブルーシートをガムテープによりシート間を固定することで養生していたが、強風により、ブルーシート等が捲れ、体育館床面を浸水させたことは、工事中の養生方法が不十分であったため。						
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 栈木で養生シートを足場板に止めて、風で捲れないように措置をした。 ・ 養生の健全性を毎日確認し、点検を行う。 ・ 雨天の予報がある場合は現場の点検を逐次行う様する。 ・ 電気設備の点検を行う。 						

事故状況図



ポリフィルムに加えて、ブルーシートも上から敷きガムテープにて止めていた。

強風でポリフィルムのシートと、ブルーシートが捲れて、その部分から雨が侵入してしまった。



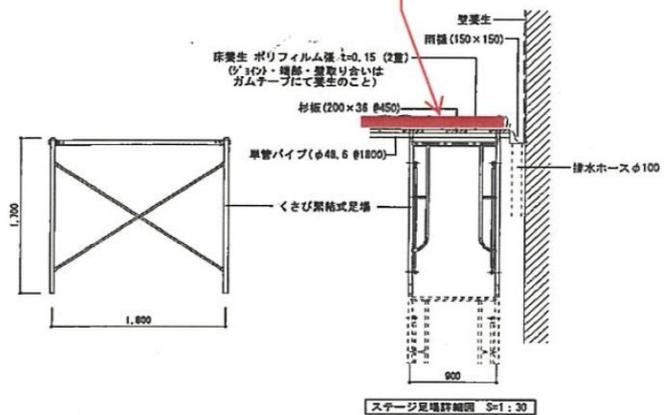
シートが捲れた状況

改善状況図



シート張り完了状況

栈木を道板の上からくさぎ打ちしシートを固定



公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	平成31年2月 5日(火曜日) 14時30分			工事関係者区分	元請け
事故区分	その他の物損	性別	—	年齢		業種区分	建築
被災程度	水道量水計の破損			事故レベル	I	休業見込日数	
工事概要	体育館の屋根の改修						
事故概要	・資材を4tダンプで搬入している時に段差で車体が持ち上がって、量水計に強く衝撃を与えて破損してしまったもの。						
事故原因	ダンプ車が周辺の状況を把握していなかったため。また、交通誘導員を配置していなかったため。						
改善策	・センター内において、工事車両を移動する場合は、事前に運転手が周囲を確認して周辺の状況を把握し、必ず誘導員を配置して移動するように改善した。						

事故状況図



事故発生場所



破損状況

改善状況図

※差し替え予定

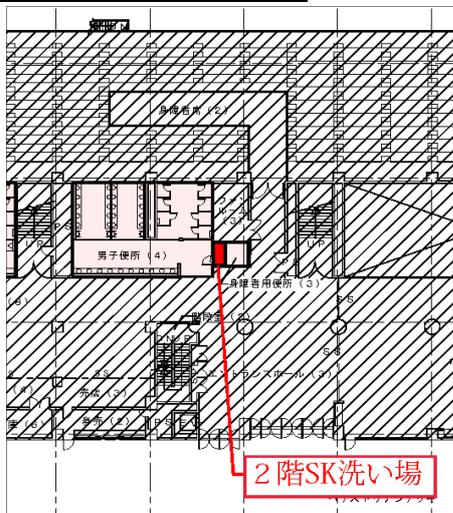


設置状況

公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	平成31年2月18日(月曜日) 19時00分			工事関係者区分	一次下請
事故区分	その他の物損	性別	—	年齢	—	業種区分	建築
被災程度	排水管の詰まり, 及び床カーペットへの漏水		事故レベル	I		休業見込日数	0日
工事概要	球技場の便所改造工事						
事故概要	2階男子便所SKの洗い場で, セメント材が残ったバケツを洗い, 排水管に詰まりが発生。その後漏水した水を汲み取り, SKを使用禁止。翌日の朝に1階の床カーペットタイルへの漏水を確認し, 送風機により乾燥をさせる。後日, 排水管の詰まった箇所を確認し, 該当箇所の取替を行う。						
事故原因	SK内でバケツ等を洗わないように作業員に徹底させていなかったこと。						
改善策	・SK等の下水・雨水に繋がっている場所で, 直接バケツ等を洗わないように作業員に指導を行う。						

事故状況図



事故状況図



1階の漏水状況

改善状況図



新規入場者教育